



平成 29 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス
代 表 者 名 代表取締役社長 河南 雅 成
(コード番号：4584 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 谷 匡 治
(TEL. 03-3517-1353)
当社の親会社 ノーリツ鋼機株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 西 本 博 嗣
(コード番号：7744 東証第1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 8 月 5 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

(1) 修正の内容

平成 29 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,685	△493	△494	△542	△60.70
今回修正予想(B)	1,089	△1,222	△1,226	△1,273	△142.53
増減額(B-A)	△595	△729	△731	△731	
増減率(%)	△35.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	1,160	△820	△785	△787	△151.45

(2) 業績予想の修正理由

売上高につきましては、当事業年度下半期に契約金収入等の計上を予定し、提携候補先と交渉を続けてまいりましたが、今般、当事業年度中には契約締結に至らない見込みとなったため、これを主たる要因として予想を修正いたしました。一方、研究開発費につきましては、主要パイプラインの開発が順調に進捗し、当初、翌事業年度に予定していた開発工程へと進んだことから、係る開発費用約 185 百万円が前倒しで計上される見込みとなりました。これらの結果、売上高の減少並びに研究開発費の増加を要因として営業利益、経常利益、当期純利益の予想も修正いたしました。なお、上記提携候補先との交渉は現在も友好的に継続中であります。また、当社の重要な経営基盤であるフィルグラスチムバイオシミラーの販売は当初の想定どおり順調に推移しております。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上